

2018伊吹山ドライブウェイヒルクライム 大会規定

●総則

- 1.本規定は、伊吹山ドライブウェイヒルクライムに適用する。
- 2.本規定の範囲内で発生した事由に関しては、主催者の責任に於いて最大限の努力により事態の收拾を図るものとする。
- 3.本規定に反する行為及び常識の範囲内を著しく逸脱する行為がなされた場合、主催者は一切責任を負わない。

●大会運営

- 1.本大会の運営は、主催者および大会実行委員会の規定に基づき行われる。
- 2.競技運営については、主催者並びに大会実行委員会が適当と認めた関係者により構成された審判団にて行われる。
- 3.本大会はJCF(日本自転車競技連盟)競技規則並びに本大会特別規則に準じて実施される。
《競技規定(PDF)》 http://jcf.or.jp/?page_id=218

●競技種目

- 1.ロードカテゴリー
定められた所定の登り舗装路を走行し、各カテゴリーにおいて所要時間で順位を競う。
- 2.MTBカテゴリー
定められた所定の登り舗装路を走行し、所要時間で順位を競う。
年齢区分無し。

●競技者規定

- 1.本大会の全ての競技について参加する選手は、競技者として本大会に事前に登録しなければならない。
- 2.本大会に参加する全ての競技者は、本大会規定を熟読し了承したうえで出走しなければならない。
- 3.本大会の競技には、中学生以上の健康な男女が参加できる。
- 4.18歳未満(大会当日)の競技者は競技参加申込み時および大会当日に保護者による同意を必要とする。
- 5.中学生の競技者は、必ず保護者と同伴で選手受付を行うこと。
- 6.競技者は次の事項を守らなければならない。
 - A)競技規則、運営、管理上の規則
 - B)スポーツマンシップに則った行動及び言動
 - C)公正・安全
- 7.正式に参加申込みを済ませた競技者のみが競技用のコースを走行できる。
- 8.競技者は、常に自己の健康及び行動を管理し、競技に際しても規則に従い、細心の注意を払いその行動に対して責任を負う。
- 9.競技者は、競技中はもとより、大会開催中の事故等について一切の責任を負わなければならない。
- 10.各レースとも定められた集合場所、時間に集まること。
スタート地点までの誘導に際しては必ず係員の指示に従うこと。

●発走規定

- 1.全ての競技においては自力発走となる。
- 2.ネットタイム(スタートのマット通過時より計測開始)方式の個人タイムトライアルロードレースとする。
- 3.スタートは100~200人を1グループとして規定の間隔でスタートする。(タイムテーブル参照)
スタート地点の係員の指示に必ず従うこと。係員の指示に従わず、移動途中の追い越しや割り込み等、悪質な行為をした競技者においては最終組のスタートとする。
- 4.原則として、フライングとみなされた競技者は、ペナルティーの対象となる。
- 5.スタートは、スタート・ジャッジによるカウントダウンにより、ホイッスルまたはブザー等にて行う。

● 装備規定

1. 装備基準については以下に定めるものとする。ただし、競技委員長、審判長、競技役員が危険性のあるものと認めたものについては、これの使用を一切認めない。
2. 全ての競技者は、ヘルメットおよびグローブを着用することを義務づける。
なお、カスクヘルメットやタイムトライアル用(エアロ)ヘルメットは安全面から禁止とする。
3. ヘルメットはハードシェルタイプのもので(財)日本自転車競技連盟の規定によるもの、もしくは同等のものとする。
また、ヘルメットには突起物(バイザー、ミラー、ライト、小型カメラ等)の装着を禁止する。
4. 上衣は袖付きを推奨する。
パンツは長いものでも良いが、安全を考慮し、ペダルやクランク、チェーンに裾が巻き込まれないようにバンドする。
5. シューズは、つま先、かかとがカバーされているものとする。なお、靴下の着用を推奨する。
6. アイ・プロテクター(保護眼鏡)は丈夫で透明度の高いものを推奨する。
7. 競技者はタイヤ、工具等を携帯することができるが、ガラス容器、その他の危険性のあるものを携帯することはできない。
8. 競技中のフレーム交換は許されない。
9. 第三者からの補給は出来ない。自身で携帯すること。
10. 以下の装備を携帯することを推奨する。
 - A) 少なくとも240ccの水
 - B) インフレーター(空気入れ)またはそれに値するもの
 - C) 交換用チューブ、パンク修理用具
 - D) 工具類
 - E) 最低限の応急用品

● 車両規定

1. ロードレーサーはフリーホイール式で前後ブレーキを装着した車輪径26インチ以上の車輛
※クロスバイクはロードレーサーとします
2. MTBにおいてはフリーホイール式で前後ブレーキを装着したタイヤ幅1.5インチ(38mm)以上のフラットハンドルの車輛。なお、タイヤ外側の形状については、問わないとする。(スリックタイヤなど)
3. 競技で使用する自転車は、競技上危険となるドロケ、キャリア、スタンド等の付属部品は取り外し、危険な突起物のないようにしなければならない。
4. サイクルメーター、ディスクホイール、テンションディスクホイールの使用は認める。
5. 全てのクラスに於いて、ピストバイクはフリー式で前後ブレーキが付いているタイプのみ出走を認める。
なお、使用により発生した事故等について主催者は責任を負わない。
6. 電動アシスト自転車、軽快車、実用車での参加は禁止とする。
7. 自転車は事前に検車を行い、検車証明書を提出すること。
なお、出走前に整備不良の自転車・規則違反の部品使用、衣服等が競技役員より指摘された場合にはペナルティーの対象となる。
8. 小径車(ミニベロ、ハンドサイクル、リカンベント)は禁止です

● 判定規定

1. 順位の判定は、ネットタイム(スタートのマット通過時より計測開始)方式とする。
2. 自転車を押す等によりゴールした者も同様とする。
3. 機械的故障、落車等に関わらず勝敗は決定される。
4. 競技を完走しなかったり、途中で棄権・失格した場合には、順位を獲得できない。
5. 代理出走(替玉出走)、その他不正が認められた場合は失格となり、それが順位の確定した後であっても、競技結果から除外される。
6. その他の事項に関しては、審議委員、審判員の協議により指示する。

●走行規定

- 1.コースを走行する場合は、安全のため左側通行を厳守すること。センターラインをはみ出しての走行は絶対しないこと。下山の時も同様とする。
- 2.他の競技者を横圧したり、手や足で押す、引く等、他の競技者の進路を妨害してはならない。
- 3.幅の狭いコースにおいて他の競技者を追い抜く場合には、相手の競技者に対して声を掛けること。
また、安全を確保するために相手の選手はその際に自分の進路を変更しないこと。
- 4.コース上において急停止、逆走することはできない。
やむを得ない場合は、速やかにコースから離れなければならない。
- 5.いかなる理由においても誤走についての異議は認めない。
- 6.競技中のメカトラブルについては、自分自身の携行している物で器材交換することが出来る。
- 7.補給所を設けないので、ドリンク等を携行することを推奨する。
- 8.競技者として不適当な行為を行った者は、競技から除外もしくはペナルティーを与える。
- 9.状況により、バイクを押す、担ぐなども許可されるが、他の競技者の安全に配慮しなければならない。
- 10.競技中および下山時のカメラやビデオ撮影、携帯電話の使用は安全のため禁止とする。
- 11.競技中や下山中にイヤホン等で音楽を聴きながら走行することは安全のため禁止とする。
- 12.最終カテゴリーがスタートし一定時間経過後、スタート地点から回収車両にてコースをクリアして行く。
従って、途中棄権者、体調不良者等については、その場にて待機し、回収車両に乗車すること。
- 13.「14.9km」で開催の場合、「10.7km」地点において競技運営上必要と判断された選手は競走中止を通告される。

●救護・保険規定

- 1.競技中の病気、傷害等に対しては応急処置を取るが、それ以後に関しては全て競技者自身の責任において処理すること。
- 2.医療の治療費などに関しては、初診料より全て本人の負担となるため、必ず健康保険証を携帯すること。
- 3.持病(心臓病等)がある方は、事前にお申し出下さい。なお、ゼッケンの裏に持病を記載して下さい。
- 4.競技参加者全員を対象に、以下の傷害保険に加入する。
a.死亡・高度障害状態・・・358万円、b.入院日額・・・4,500円、c.通院日額・・・2,700円
- 5.この保険内容で不十分な場合は、各自で任意保険に加入することを推奨する。
- 6.大会当日に体調の悪い競技者は無理せず参加を控えてください。
- 7.救急車を呼ぶ事態となった場合は、大会事務局から行いますので、決して自分の判断では行わないようお願い致します。(過去に怪我をした選手自身が救急車を呼び、現場が混乱した事例があります)

●表彰規定

- 1.各カテゴリーの1位～6位に賞状、副賞を贈る。
- 2.競技参加全員に参加賞を贈る。
- 3.入賞者が表彰式に無断で欠席した場合は、入賞を取消し空位とする。
ただし、事前に届け出るか若しくは代理出席の場合は除く。

●その他の規定

- 1.本大会の変更事項および必要事項については、当日、掲示板及び会場アナウンスにより指示する。
- 2.大会役員及びオフィシャルの指示には、絶対に従うこと。
- 3.車は駐車場誘導員の指示に従って詰めて駐車すること。
余分なスペースや知人のための場所を取ったりしないこと。
- 4.大会開催中、参加者自身の所持品および用具は、各自の責任において管理すること。
- 5.レーススケジュールは変更することがある。